

令和6年産主食用米の「生産の目標」について

令和5年12月19日
香川県農業再生協議会

1 「生産の目標」設定の考え方

全国的に需給が均衡し、米価が回復傾向にある中、本県の主食用米の作付面積が毎年500ha規模で減少している現状が続いていることから、引き続き産地としての主食用米の生産量を確保し水田農業の維持を図ることとします。

また、県全体で令和6年産の作付面積を維持するため、全国の需給見通しを踏まえ、県産米の需要・販売動向、作付実績などを考慮して、「生産の目標」を設定します。

2 主要品種の生産の方向性

品 種 名	流通・販売状況と生産の方向性(JA香川県取扱より)
おいでまい	約73%が県内向けに家庭用精米として流通され、学校給食でも使用されています。 ブランド化に向けた取組みを強化しながら「特A」評価が継続できるよう良食味を維持しつつ、品質の高位安定化に努め、香川県を代表するオリジナル米として、需要動向をみながら作付面積・生産量を増加させていきます。
コシヒカリ	約88%が県内向けに流通し、家庭用精米の定番となっています。 県内を主体に需要はありますが、温暖化による品質の低下が著しいため、麦との二毛作を踏まえた水稻の中生品種や業務用途向けの主食用多収品種へ転換を図っていきます。
ヒノヒカリ	約68%が関西圏など県外向けに流通し、年間を通じて食味が安定しており、主に業務用途での需要が多くなっています。 複数年契約の取組みを進め販路を確保し、需要に応じた生産を進める必要があることから、作付面積・生産量を増加させていきます。
あきさかり	主に県外業務用途向けとして導入し、新型コロナウイルス感染症の影響により減退していた需要も回復してきたため、販路の拡大が進み、県内外で流通しました。(県内47%、県外53%) 複数年契約を含めた、業務用途への販路拡大に向けた取組みを強化し、需要動向を見ながら作付面積・生産量を増加させていきます。

3 地域ごとの主食用米の生産の方向性（ＪＡ香川県各地域）

地域	主要品種・作付順 (下線はＲ５年産作付最多)	生産の方向性	
		作付面積	品種構成比率
大川	<u>コシヒカリ</u> あきさかり ヒノヒカリ	コシヒカリ：減 あきさかり：増 ヒノヒカリ：維持	コシヒカリに作付が偏っている（Ｒ４・Ｒ５年産 72％）ため、主にあきさかりへの品種転換を行い、コシヒカリの構成比率が 60％程度になるようにしていく。
中央	<u>ヒノヒカリ</u> <u>コシヒカリ</u> あきさかり	ヒノヒカリ：増 コシヒカリ：減 あきさかり：増 おいでまい：維持	コシヒカリの短期栽培の構成比率を減少し、あきさかり（約 13％）、ヒノヒカリ（約 46％）への転換を行うとともに、おいでまい（約 7％）は現状維持。
小豆	<u>コシヒカリ</u> <u>ヒノヒカリ</u>	コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：維持 あきさかり：維持	コシヒカリ（約 58％）、ヒノヒカリ（約 12％）、あきさかり（約 3％）の構成で面積維持に努める。
綾坂	<u>コシヒカリ</u> <u>ヒノヒカリ</u> おいでまい	コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：微増 おいでまい：維持 あきさかり：維持	主要 4 品種（コシヒカリ（約 31％）、ヒノヒカリ（約 22％）、おいでまい（約 22％）、あきさかり（約 20％））の構成比率は維持していく。
仲多度	<u>おいでまい</u> <u>コシヒカリ</u> ヒノヒカリ	おいでまい：維持 コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：維持 あきさかり：微増	おいでまい（約 32％）は現状維持、ヒノヒカリ及び短期栽培のコシヒカリからあきさかり（約 16％）への転換を行い、作型分散と作付面積の維持に努める。コシヒカリ（約 29％）・あきさかり（約 16％）・おいでまい（約 32％）を中心として取り組む。
三豊	<u>ヒノヒカリ</u> <u>コシヒカリ</u> オオセト	ヒノヒカリ：増 コシヒカリ：減 オオセト：増 あきさかり：微増	コシヒカリの構成比率を減少し、あきさかり（約 4％）、ヒノヒカリ（約 47％）への転換を行うとともに、オオセト（約 6％）は増加させる。
豊南	<u>コシヒカリ</u> あきさかり ヒノヒカリ	コシヒカリ：維持 あきさかり：維持 ヒノヒカリ：微増	あきさかり（約 36％）、コシヒカリ（約 43％）、ヒノヒカリ（約 18％）の構成比率は維持していく。

4 令和 6 年産の主食用米の「生産の目標」

	生産の目標			※（）の数値は生産の目標			
				【参考】 令和 5 年産（10 月 25 日現在）		【参考】 令和 4 年産（実績）	
	面積 （ヘクタール）	生産量換算値 （トン）	向き	面積 （ヘクタール）	生産量換算値 （トン）	面積 （ヘクタール）	生産量換算値 （トン）
香川県	10, 100	50, 096		(10, 800)	(53, 568)	(11, 300)	(56, 048)
				10, 100	50, 100	10, 800	55, 200

注 1）「生産の目標」の生産量換算値（トン）は、県の平均収量 496kg/10a により算定

注 2）農林水産省統計公表値

<参 考> 令和 6 年産の非主食用米の「生産の目標」

	水稻の種類	令和 6 年産（目標値）		令和 5 年産（10 月現在）
		面積（ヘクタール）	向き	面積（ヘクタール）
香川県	加工用米	90		48
	米粉用米	7		7
	飼料用米	230		195
	WCS 用稲	350		269
	新市場開拓用米	50		28
	合 計	727		547